

東日本大震災10年 3.11広野町 「被災の祈り」



未来に向けた次の復興の力につなぐ

2011.3.11 東日本大震災・原発事故 広野町アーカイブ展

未来へつなぐ10年の歩み



広野町アーカイブ展



避難所を再現



メッセージツリー



ライトアップされたステージ



広野町を再現した模型



モザイクアート



ライトアップされた公園



パネル展示



記録と教訓を、次世代へ継承

東日本大震災と原子力発電所事故から10年が経過しました。広野町は、直接死と震災関連死を併せて49名の尊い命を亡くしました。未曾有の大災害により全町避難を余儀なくされましたが、国内はもとより国際社会から多くの温かく力強い支援をいただき、これまで様々な復興・復興事業を展開し、この10年間を歩んで来ました。

震災から丸10年となる令和3年3月11日、震災から今日まで被災された全ての方々に対し「被災の祈り」を行いました。津波被害により犠牲となられた尊い命に祈りを捧げ、被災された全ての方々の幸せな生活の営みを念じ、町民、子ども達も一体となって黙とうを捧げ、心ひとつに真の復興を成し遂げることを誓いました。

震災・原発事故の記録と教訓を伝えるアーカイブ展などのイベントを通して、震災からの10年を総括し、次の10年に向けた新たな力としていきます。

東日本大震災・原発事故 広野町アーカイブ展

3月1日から31日まで、二ツ沼総合公園パークギャラリーにて、広野町が経験した未曾有の複合災害の記録と教訓、復興の歩みを後世に伝えるため、アーカイブ展を開催しました。復興への思いを伝えるメッセージボードには多くの皆さまからメッセージをいただきました。

モザイクアート

福島と神奈川の学生コラボ企画として福島モザイクアートの展示が行われました。全国・世界から1480枚の写真とメッセージを集め、福島の魅力、福島の思い出、伝えたい福島の姿が詰まった作品が完成しました。

ライトアップ

3月1日から31日まで、二ツ沼総合公園全体を復興を祈念して、イルミネーションでライトアップしました。期間中には、友だちや親子で楽しむ姿が見られました。

